

# かみ

議会だより



12月定例会  
第28号



かるたでお勉強

「あいうえお」



## — CONTENTS —

- 組織条例改正 2～4
- 補正予算 6
- 住民の声 届くか (14人が一般質問) 8～14
- この人 ここにあり 16

(小代認定こども園)

# 組織条例の

## 部制廃止の再提案に

### 4部・2局23課から17課へ

# 改正を可決 (賛成 9人) (反対 6人)

## 議論白熱

### 13人が質疑 討論に6人

### 討論

**反対討論** 西川 誠一 議員  
答弁の中でフラット化の実効性が見えない。地域協議会に凶らないのは町民無視であること。組織改革は第2期長瀬町政でやれば良いことである。

**賛成討論** 植田 隆博 議員  
職員から提案され、職員が仕事をしやすくスピード感を求めたものと聞く。混乱を起こしたとしても、そのつど解決できることである。木を見て森を見ずの議論はやめよう。

**反対討論** 森 利秋 議員  
組織改革と人事異動の時期は混乱が起きる。子ども教育課を置くことも内部だけで決められている。部制で各課をまたがる事業の連携ができることを考える。

### 組織条例

### 質疑

**問** 前回の提案とどこが変わったのか。地域協議会と行財政改革推進委員会に図ったのか  
**答** 組織の簡素化と職階の見直しを行ない、決裁をスムーズにすることでスピード化を図ることが目的です。前回と違うのは、総務課に防災安全室を置くこと、矢田川クリーンセンターを上下水道課に、保育行政を教育委員会に移し、委員会に大きな責任を持ってもらうことになることです。地域協議会は、地域の



各課の連携は大丈夫か？

ことをしっかり考えてもらう所ですし、行財政改革推進委員会は財政のことを考える所なので図っています。

**問** 部制を廃止することで、各課の調整と連携をどのように図ろうとしているのか  
**答** 戦略会議を中断していたが、グループ化(福祉や産業建設等)をして、その代表と総務課、企画課、財政課と、必要に応じて担当課を交えて企画調整会議を組織し、企画課が中心となって連携と調整の協議を進めていきます。

**問** 部制を廃止することで、給料表の7級がなくなる。課長給になるなどから減額になります。  
**問** 財政的にはどうか  
**答** 部制をなくすることで給料表の7級がなくなる。課長給になるなどから減額になります。



小代地域局の様子

**問** 地域局に企画・立案の機能と実行段階まで行なう人数を残すことができるのか  
**答** 地域局には、できるだけ経験豊富な職員を配置することで、日常の窓口業務と必要な業務を考えた人数で、不便がなければ行政サービスが低下しないよう配慮してやっていきます。

**問** 本庁の各課に専門職を集約していきます。人員は、村岡地域局は17人(△7人)小代地域局は12人(△4人)本庁は326人で行なうていきます。

**問** 地域局の災害の対応はどうするのか  
**答** 地域局の中にも防災担当を置き、情報をしっかりとつかんで対応できるようにしたいと思います。

**問** 縦割りの弊害が生まれないか。中間の職階の調整はどうなるのか  
**答** 各課長に専門的分野としてしっかりとやってもらいます。職階は、課長副課長、係長、主事、主査とします。庁内プロジェクトチームの報告や行財政改革の実施計画の中でもこの組織の見直しも取り上げられて協議されてきたところです。

**問** ことも教育課とは(教育長) 保育園・幼稚園・小学校・児童クラブ・認定こども園等々地域的なこともありすが、具体的に整理をし、子どもをどう考えていきます。  
**答** 保育園・幼稚園・小学校・児童クラブ・認定こども園等々地域的なこともありすが、具体的に整理をし、子どもをどう考えていきます。

が減ることを見据え、各課及び地域局の柔軟な対応と連携ができることと明言されている。防災安全室も設置される。コンパクトにまとめた組織であり、職員との議論の上で提案されたものと考えています。

**賛成討論** 小林 利明 議員  
大課制を小課制にして狭い分野で責任を持って対応する。地域局は弾力的に対応する。グループ化した課の連携で調整するとの答弁があった。

**反対討論** 山本 賢司 議員  
行革で正職員を減らす方針の行革委員会への協議もしない。各課だけの責任を持つことだけで、本町はやっていけないと思えない。

**賛成討論** 西坂 秀美 議員  
部制の廃止は、職階を少なくして業務のスピードアップと将来の職員数が



村岡地域局(教育委員会)の様子



新年明けましておめでとござります。  
本年もよろしくお願ひします。



香美町議会  
議長 吉苗 範明

後期議長就任から一年近くが過ぎようとしています。議会が変わらなければ、町政も変わらないを基本に、現在「考動（こうどう）する議会」を目指し、その規範となるべき議会基本条例の制定に向け議会運営委員会を中心に素案をまとめている最中です。

日が人生最後の日だと思つて過ごす」という有名なメッセージがあります。このメッセージの意味の奥には、後悔しないため普段から信念を持つことが大切だという思いがあるように感じます。

我々の任期もあと一年余り、「画竜点睛（えびなづめ）」を指し、決して「竜頭蛇尾（りゅうとうだび）」とならないよう町民皆様の声を真摯（しんしん）に受け止めていかなければと思います。

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は平成24年4月1日から3年間です。



村岡区長板299番地の1  
ふるかわ みつる  
古川 美鶴さん

# 病院に管理者設置!?

## 香住病院職員反対の嘆願

## 賛成多数で可決

質疑

問 提案のメリットはどこにあるのか。またデメリットは

答 経営責任が明確になり、意思決定が迅速にでき、また独自の給与体系が導入しやすくなります。反面、行政の一体化が弱くなります。

問 事務長が廃止されるのでは

答 すぐに廃止するわけにはいきませんが、将来はそうなります。

問 職員組合から嘆願書がでているが、理解は得られているのか。今後の対応はどうするのか

答 理解を得られる十分な時間はなかったが、今後は、一体となつて取り組みます。

問 管理者の権力が集中するのではないか、人選はどうする

答 そうならないように身近な人を選んでいきます。

討論

反対討論 山本 賢司議員

患者との信頼関係を守るべき大事な時期に院長自ら嘆願書にサインをし訂正するという勘違いがあるなかでの提案は拙速すぎる。

賛成討論 上田 勝幸議員

常勤医師の減員が迫っているなかで確保補充ができなければ病院が機能不全となる危惧がある。管理者に期待する。

反対討論 谷口 眞治議員

地方公営企業法の全部適用は、能率性、採算性が最優先されるため公共性が損なわれる危惧がある。現場の人と十分議論してからでも遅くない。

賛成討論 小林 利明議員

町長は提案するのに職員とは十分な議論はなかったが、今後しっかりと議論し現場とも協議すると言明された。よつて賛成する。

### 香住病院どう変わる?

- ・ 運営責任 町長 → 管理者 (特別職であるが議会の同意不要)
- ・ 職員採用 町長 → 管理者
- ・ 勤務条件 独自の設定は可能
- ・ 給与制度 独自の設定は可能

# 一般会計

# 減額修正案を否決

一般会計補正予算の審議では、小代堆肥センターの車両修繕料を減額する修正案が提出され、これを否決しました。

## 一般会計

### 質疑

問 ごみ処理費160万円の内容は

答 ゴミクレーンの荷重計の整備他です。

問 小代堆肥センターの修繕料34万円の内容は

答 タイヤドーザーの修理代です。

問 余部鉄橋保存活用事業費の減額の内容は

答 余部インター前の案内塔の計画が廃止になりました。

問 高齢者等住宅改造成事業費の追加件数は

答 当初3件を予定していましたが、計4件になりました。

問 北但行政事務組合負担金421万円の内容は

答 22年度の繰り越し分と地域振興事業の負担分

です。

問 ふるさとづくり基金費200万円の考え方は

答 法令の改正により、寄付をしていただいた方に2千円の品物を送るようになります。

## 修正動議

提出者の趣旨説明

西村 伸一 議員 他一名  
指定管理を受けた以上は自己責任の範囲内で車両整備を行うべきである。村岡区の畜産農家へ説明できない。

## 討議

原案賛成 寺川 秀志 議員

村岡有機センターの代表者が減額修正案を提出するのはいかなるものか。このようなことが繰り返されると香美町議会の品位が保てない。

原案反対 山本 賢司 議員  
修正案反対

人事院勧告の実施での給与減、北但行政事務組合への負担金、災害復旧への対応により反対する。

修正案賛成 森 利秋 議員

指定管理者制度の協定書の中身には不備がある。町は平等性を考えるべきだ。今後調整すべきである。



小代堆肥センター タイヤドーザー

原案賛成 小林 利明 議員

この度の予算には災害復旧、中学生の大会派遣費、湯舟橋の改修など重要なものが含まれている。

### 減額修正案

賛成少数で否決

### 原案

賛成多数で可決

## 特別会計

### 国民健康保険

問 小代診療所の医師派遣負担金の積算基礎は

答 小代診療所の代診医師のそれぞれの病院の一回当りの単価です。

問 兎塚・川会歯科診療所の歯科医師報酬費2千164万円の内容は

答 この度の契約の更改で単年度で精算になり、22年度分、23年度分です。

### 全員賛成で可決

### 香住病院

問 備品購入費60万円の内容は

答 3階の老健施設に入浴用のリフト購入費です。

問 人事院勧告の影響額はどのくらいになるのか

答 一人当たり数千円です。

### 全員賛成で可決

# 契 約

## 香佳小学校新校舎建築工事増額

契約金額10億9千42万5千円を11億2千319万8千335円へ



騒音を出さないように電動で静かに！

### 質 疑

問 地中障害物の撤去処分は終わっているのではありませんか。見込んでいなかったもので不足するのかわかるのか

答 終わっています。何か埋まっている可能性はある、と言われているのですが、図面等で確認できなかったこと、思っていたより多量だったことによるものです。

問 6月議会で、木工事の件は出ていたが、どういうことか  
答 木工事は林野庁の補助事業で24年度に、と計

画していましたが、見込みがなくなりました。この増額で契約変更し、次年度へ繰り越す予定にしています。

問 それぞれの増額分はいくらで、財源はどう見込むのか

答 地中障害物関係で、204万円、町の単費です。木工事で3千74万円半は国庫補助、他に4億円の2.5%分1千万円がエコスクール分として見込まれ、町の単費は500万円としています。

### 全員賛成で可決

## 11月臨時会 補正予算

### 質 疑

問 この度の水害は激甚災害指定されたので、町単独の補助事業から、町が事業主体になり受益者から分担金をいただく事業に変わった。被災者の住民との対応の状況はどうか

答 13万円から40万円についての災害、台風12号15号については激甚災害指定を受けました。被災者の方々にもその旨説明しました。町が事業主体として事業をします。それに伴う分担金の発生も数字を示しながら説明しました。

問 分担金の額は町単補助の場合50%。町が事業主体になっても変わらないのか

答 町単補助の場合、国の補助制度に乗りません。13万円から40万円の災害分につきましては、農地50%、施設は65%を町が補助するのが今の要綱です。台風12号15号の水害は、激甚災害指定を受けたことにより町は国の制度である74%の起債を町が借ります。その残りの26%を被害を受けられた方に負担していただきます。最初説明しました50%の負担が約半額になる旨の説明をしました。

問 鹿の緊急対策の報奨金について、1頭当りはいくらか。

答 捕獲目標頭数は何頭か。捕獲した動物の処置の仕方について県からの指導はあったのか

答 捕獲頭数によって単価が異なります。県では最低3頭からです。3頭から10頭までは1頭につき2千500円、11頭から20頭までは1頭につき4千500円、21頭以上は1頭につき6千500円が支給されます。

捕獲目標数は昨年の42頭を上回るようにと県から言われています。捕獲後の指導については町にはありません。

### 全員賛成で可決



激甚災害に指定されました

# 町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月6日と7日に14名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



少子化、子育て支援に画期的施策を



地域みんなで医師を探そう

①24年度予算編成の基  
本的思考方は②補助制度  
の見直しはどうか③組織



岡田 公男 議員

## 少子化、子育て支援の施策は 新年度予算で考えます

改革はどのように、地域  
同体制をどう考えている  
のか④少子化、子供を産  
み育てやすいまちとして  
経済負担を軽くする、学  
校給食の無料化、子育て  
応援券の支給施策は考え  
られないか⑤教育長に問  
う。不登校児童、生徒の  
実態と対応は。深刻か

町長 ①防災安全、地  
域医療の確保、産業振興  
子育て支援に重点配分が  
必要と考えています。②  
支援しなくてはいけない  
産業振興等は見直します。  
③職員減で住民サービ  
スを低下させない、簡素で  
効率的な決裁等敏速な行  
政組織、地域局の日常窓

口業務をしつかりやりな  
がら、専門的業種は本庁  
で管理します。④無料化  
する年間8千600万円  
の財源をどうするのか難  
しさがあります。新しい  
予算で子育て支援に何が  
できるか考えております。  
教育長 ⑤中学校で13名  
の不登校、深刻な状況で  
す。



寺川 秀志 議員

## 柴山診療所開設に支援を 町としても支援します

柴山地区にあった、成  
田医院柴山診療所の閉院  
後、地区住民から医師の  
招聘を行政に頼らないで、  
町の施設を借りて診察室  
をつくってもらい、地区  
民がお願いした医師に関

業してもらいたい。その  
ような動きが起っている。  
少子化問題もある中で、  
高齢者を持つ家族・地区  
住民は、寝たきりになら  
ないように通院して診察  
や薬剤の処方をしてもら  
える診療所を求めている。  
施設の整備も含め財政支  
援をする考えはないか

町長 柴山地区の皆さ  
んが民間の医院にお願い  
して、地区を挙げて医療  
施設を行政に頼らず自分  
達で守ろうという気持ち  
は、すばらしいと思っ  
ています。町としても、過  
去の実績もあり、地区が  
責任をもってやっていた  
だき、町の施設が利用で  
きるならば協力したいと  
思っています。  
また、財政支援につい  
ては、どのように利用さ  
れるか分かりませんが、  
ある程度の支援は、必要  
と思っています。



中学卒業まで医療費無料化で子育て支援を



さらに交流の機会を



小林 利明 議員

少子高齢化が進む中で未婚・晩婚化は行政の最重要課題であり、「出会

## 若者の出会う機会づくりには工夫を！ 大事であり、前向きに取り組みます

「出会う機会づくり」が問題化の中心的要因と理解している。ついでには、環境改善の対応を強く求めて次の3点を提言する。

昔の青年団活動のように地域行事に若者の参加を促す一層の工夫と支援を各自治区にお願いする。企画から実行まで若者

による組織化や町内交流の機会づくりを積極的に促し、支援する。公施設を簡便に利用できる活動拠点として提供する

〔町長〕 私たちの青年期は盆踊りや秋祭り、芝居など若者は自然な交流の

中で縁もありました。提言は大事だと思えますので働きかけたいと思えます。

二点目の提言については、結婚対策会議がありますが、若者の声を聞くことや自主的活動の支援も考えたいと思います。

最後の提言は、若者のその種の活動には公施設の無料使用を前向きに検討します。

## 子育て支援策について問う 子育て世代に夢と希望を与えます



上田 勝幸 議員

合併以来、永年の懸案であった通学費保護者負担ゼロを、長瀬町政は実現された。それは、保護者に夢と希望を与える一端になったと思うし、同時に町長の決断に胸の高

まりを覚える。先進地域では、少子化対策の一環としての子育て支援に財政の3%を投入されている市町もある。香美町、財政的にまだまだ厳しいが、教育が町を救う、町を発展させるとの想いで辣腕をふるってほしい。中学卒業までの医療費の無料化、その実現に取り組むべきだ

〔町長〕 少子化対策としての子育て支援、色々と無料化の提案がありましたが、町としては、できるだけだけの努力はしているつもりです。医療費の無料化、実現するには、今の助成に更に2千400万円の負担増が必要ですが、産業振興、災害対策等いろいろな課題が山積しています。子育て世代に夢と希望を与えられるよう、鋭意努力致します。



ファームガーデンを核にみんなで農業の6次化を目指そう

①TPP（環太平洋経済連携協定）に参加した場合、香美町農業への影響をどのように考えるか  
②農業の一番の問題は生産性の低さ。これを高めるための方策は3つ。規



森 利秋 議員

## ファームガーデンを核に基地つくれ 今後の取り組みを産業部で検討します

模の拡大・自動化・加工や販売まで手がける六次産業化との意見もあるが  
③産業の六次化を町どのの計画に盛り込むのか、またその施策は④村岡ファームガーデンを核として周辺一帯を農「観」商工連携を含め、農業の六次化の基地として構想をたてるべきと考える

町長 ①TPPに参加すると日本の米では年間

の損失が1兆2千億円とのことで大きな打撃を受けます。②産業の六次化で生産から加工販売まで付加価値をつける必要があります。③総合計画に盛り込み、食のまちづくりを重点的に取り組みます。農林水産業と製造業、販売網の拡充を図り観光と連携します。④交通量は多く周辺には田んぼもありです。産業部で今後の取り組みを検討します。



長期の活動になるが…



植田 隆博 議員

山陰海岸ジオパークが世界認定され一年が過ぎましたが世界遺産と違い

## ジオパーク課の新設を！ 学術的な人材が必要と思います

四年に一度見直しがある。現に認定の取消された所もある。ここは一府二県にまたがる広範囲な場所だ。香美町の取り組みが遅れたために『認定が取消された』ことの無いように十分な人員・人材でやらなければならない。職員は異動もあるが人材

の育成も大事だ。町長の考えを問う  
町長 見直しの件は承知しております。人員は現在、商工観光課から一名、海の文化館に嘱託職員一名の二名を配置していますが十分でないと思っております。

今後の取り組みについては学術的な専門員が必要と思います。またジオパーク推進協議会、民間団体を含むジオマスター等のご協力を得て横の連携をとりながら進めます。



小代区新屋小字備「ここから養父と若桜へトンネル掘って小代に夢を」



田野 哲夫 議員

秋岡南の矢田川と新屋川を利用し小型の揚水型水力発電を最大に、ミニ

## トンネル化で小代区発展計画を!! 地域協議会で町づくりの協議をしています

ママには岸田川にある様な水力発電で、小代区発展計画が立てられないか。国道482号の小代区南地域のルート見直しで、養父市と若桜町と結ぶトンネル（県民局は60億円とも）を掘ればよい。打開策を見せることが、本当の力になると考える。

地域局に次のステップに上がる対策をすることが町長の仕事ではないか

**町長** 揚水発電は香美町だけでは、多額の費用や効率性から言ってできません。

国道482号は期成同盟会が持たれています。

県が予定告示を打って、熱田出合から岩倉線にルート変更し、道路整備する予定です。県道養父小代線（主要地方道）のトンネル化などの要望があり、県と協議したことがあります。

小代地域協議会は、遊休地や建物の活用や町づくりの協議をしています。



幼児のための遊具がほしいなあ



谷口 眞治 議員

人口減対策は待ったなし。少子化対策をまちづくりの柱にすべきだ。若いお母さんの「子育てを応援して」の声を実現すべき。町長の所見を伺う。

① 香住病院に産婦人科・

救急医療体制の整備②子ども医療費中学3年生までの無料化③妊婦健診などの立替払補助を直接補助に④各校区に遊具付き遊び場を。しおかせ香苑の遊具整備を。⑤町中に授乳できる場所の確保を

**町長** 少子化対策は大変重要であり、香美町次世代育成支援行動計画をしっかりと取り組みます。

① 産科医師の確保は大変

難しく、救急体制は香住病院の現医師体制では無理です。②中学3年生までの一挙の無料化は難しいです。③今後、実現に向けて医療機関と検討します。④自治会の整備に補助しており、遊具の整備は必要性も含めて検討します。また、しおかせ香苑の遊具整備は検討します。⑤健診等での授乳場所は確保しています。

「子育て応援して!」の声に応えよ  
できることから検討します



にぎわうスキー場 泊まり客は減少

この3年間町長の執行ぶりを見ると、財政の健全化、財政の立直しが主



西村 伸一 議員

光産業の中でもスキー客は入込み最高時の50%以下となり低迷している。

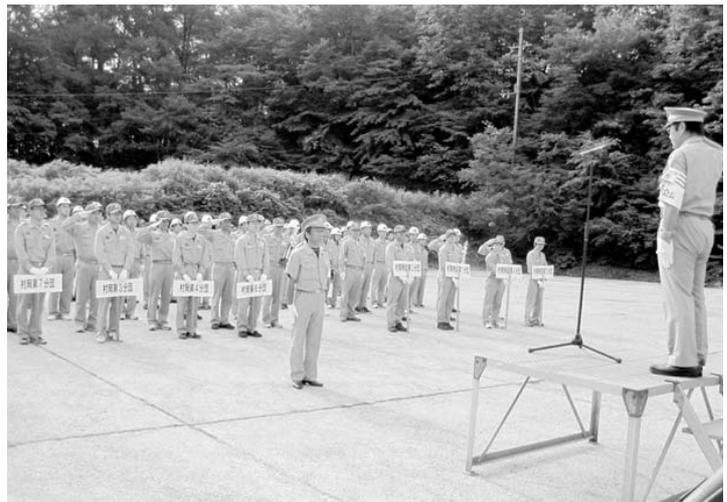
であり、あとは何もしない状況である。その結果町民には閉塞感だけが漂っている。町の経済は基幹産業と言われてきた漁業、農業、畜産業の衰退が特に目につき、また観光産業の中でもスキー客

町長 財政の健全化なくして真の行政サービス

その上日帰りのスキー客が大部分を占めて地域の経済を完全に狂わせている。関係者はただ手をこまねいており、行政に寄せる期待は大きいと思うがこの打開策を問う

はないというのが私の基本的な理念でございます。町内の活性化、産業の活性化には十分配慮し、できる範囲でやっていきたいということで、産業団体とも意見交換をする場に足を運びいろいろ意見を聞かせて頂きその中でできる事は積極的にさせていただきます。頂いたのが今の状況です。

## 閉塞感だけが漂う。打開策は!! 財政の健全化がもつとも重要です



消防団には行方不明者捜索もお願いすることもあります

行方不明者の捜索等で多数の人数で加わっていただく場合において、OBの消防団幹部の方数人にお聞きした。例えば早朝から捜索して、午後を過ぎるなど思っても現実



岸本 正人 議員

町長 行方不明者の捜索等においての炊き出しは、地元で対応していた

には、その地区の方に炊き出しを依頼しようと思っても、財源の手当がないのでできない。区の方の自発的なボランティアで出してくれるのを待つしかないとの回答であった。原料代だけでも出すのでと依頼できる制度ができないか

だいております。この課題は町で対応できるのかどうか等、検討が必要かなと考えます。今後そういうことが増えるなら、地元の負担も大変だと思いますので内部で検討してみます。町が制度的に設けることができるのかできないのかもあわせて検討をします。

## 捜索等必要時に炊き出しの制度化を 今後の課題として検討してまいります



大勢の人の協力が必要です



西坂 秀美 議員

香美町には食味鑑定コ  
ンクールで金賞を受賞し  
た村岡米、但馬牛、マツ

## 六次化で産業の活性化を！ 仕組み作りの支援を予算化

バガニや香住ガニ、ジョ  
パーク認定の海岸や猿尾  
滝、スキー場等日本一と  
言われるものが多くあり  
話題性や資源には事欠か  
ない。しかし本町ではこ  
れらがうまく連携してい  
るか。地産地消はもちろ  
ん、新たなお客、観光客  
が増えないと六次化は成

り立たない。生産、加工  
販売の連携が必要だが誰  
が仕掛けるのか、仕掛け  
人をどう養成するのか

ため、商工会を中心に、  
産業団体で香美町の産業  
の連携活性化協議会を立  
ち上げ活性化について協  
議していただいております。  
香美町の現状を考えま  
すと、それぞれの業種の  
連携が大事です。それら  
の仕組みを町も支援する  
ため商工会に関係する予  
算を組ませていただいて  
おります。

## 医療・介護の負担軽減へ 出来る限りのことはやりたい



山本 賢司 議員

国保制度は社会保障と  
認識し、税負担の軽減の  
ための繰り入れをすべき  
だ。医療費減免制度は要  
綱を作っただけであり、  
医療機関の窓口で分るよ  
うにすべきだ。

法改正で要支援1、2  
の方のサービスを保険外  
に、町長判断でできるよ  
うにされたが、すべきで  
ない。介護保険基金が1  
億円余あるが、保険料軽  
減のために使うべきだ。  
後期高齢者医療につい  
ても、県広域連合として  
多額の安定化基金を保有  
している。広域連合議会  
に議員として参加してい  
る町長は、この基金を保  
険料軽減に使い、という

べきだ  
町長 国保制度は憲法  
25条に基づく社会保障制  
度と認識しているが、繰  
出基準以上の繰出はしま  
せん。減免制度は指摘の  
ようにします。  
現行の介護サービスを  
維持します。基金は取崩  
す方向で検討します。  
広域連合に基金がある  
とするならば、負担軽減  
に活用を、と考えます。



大切にしたいのちの砦  
どりで



執務中の町長

12月になり、来年度の予算編成が本格化してくると思うが、平成24年度は長瀬町政の最終年度である。町長は就任してから3年で丸3年になるが振り返ってみると前半の



浜上 勇人 議員

**24年度は任期最終年だ。予算は？**  
**みなさんの意見を組み込みます**

2年間の出来事や行政執行は混乱気味であったような思いがする。人事面も含め今の形になってからやっと安定して地に足のついた行政が行われている感がある。今までの総括を含め、来年度の予算編成についての考え方を示せ

町長 浜上議員から指摘があったように地に足のつかないような現状がありました。私が選挙で申し上げたことは、これから香美町の将来を考えると必要なことであるという信念のもとに行政を進めています。来年度は皆さんに期待されるような見える形の予算づくりができればと思っています。基本になるのは総合計画、自立促進計画が柱になります。災害対策、医師確保、産業振興、子育て支援に取り組みます。



子育てにこまやかな支援を



吉田 増夫 議員

町長は、住民の健康、若者定住と少子化対策に取り組み、助成金支援等

**地域福祉に保健師はいらないのか？**  
**福祉経験の豊かな女性配置を考える**

行っているが、以上に専門知識を持ったこまやかな指導「心のケア」も大事な事ではないか。  
①21年度より保健師の本庁集約により、不在の地域局もあるが、サービスはどうか。不在とした根拠は  
②本庁集約体制の成果は

町長 ①分散配置のデメリットを解消し、保健福祉体制の強化を図り、健康で安全なまちづくりに取り組むために集約し、サービスが低下しないように取り組んでいます。保健師の地域局配置は今、無理としても経験ある女性の配置は可能かと思っ

ており、考えて行きたいと思っております。  
②集中配置により、赤ちゃんとかわれるようになった、早期の育児支援の確立が出来た、など成果としてとらえています。

# 意見書を提出

## 兵庫県高等学校普通科の通学区域の 在り方報告に関する意見書

1. 北但学区、南但学区を堅持すること。
2. 連携校方式を堅持すること。
3. 香住高校、村岡高校を存続させること。

《兵庫県知事、県教育委員会委員長へ提出しました。》

## 農林漁業用燃料にかかる恒久的な 免税措置等を求める意見書

1. 農林漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置について、恒久化すること。
2. 農林漁業用A重油にかかる石油石炭税の免税・還付措置について、恒久化すること。

## 自治体病院の医師確保を求める意見書

1. いのちを守る緊急の課題として医師養成を図るとともに、医師の偏在をなくし、全国均等な専門医の配置など医療提供体制の整備について、国の制度や方針を確立すること。
2. 県、大学、医師会等の連携のもと、県内医療機関への医師配置に関する調整機能を確保し、医師の地域偏在を是正すること。
3. 深刻化している医師不足の解消を図るため、勤務医の過酷な勤務実態を踏まえた処遇改善、及び診療報酬の抜本的見直しを含む適切かつ充実した施策を講じること。
4. 身近な地域の病院で出産できる安全・安心の助産システムをつくること。そのために産科医師、新生児治療医師を確保し、正常な妊娠・出産、産後と育児のケアを担える助産師の専門性をいかし活用を図ること。

《いずれも国に提出しました。》

# その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
寺川秀志	1. 減税について 2. 滞納金の徴収方法について
岡田公男	1. 冬期の町民生活を守る災害、除雪対応は万全か問う
小林利明	1. 香住病院存続の環境改善のために
上田勝幸	1. 通学区の変更又は見直しは考えられないか
植田隆博	1. 町有施設の管理について 2. 寒冷地手当について 3. 香住山手土地について 4. 散歩道のモデルコースを作ろう
森 利秋	1. 小代区のサル対策について問う
谷口眞治	1. ごみ処理施設の広域整備について
田野哲夫	1. 香美町のごみ対策をどう考えるのか 2. ごみ減量化対策は、ダンボール堆肥化以外は全く考えていないのか
岸本正人	1. 結婚対策について
西村伸一	1. TPP交渉参加強行へ
西坂秀美	1. 地域の医療をどう守るのか
山本賢司	1. 住民に不都合な行政機構は許されない 2. 町財政の将来見通し、町の方向をどうとらえているか。子育て支援、後継者育成を軸にすべき
吉田増夫	1. 小代診療所医師確保について問う 2. 野獣対策について問う
浜上勇人	1. 機構改革や部制廃止、長期財政見通しについて問う 2. 町内の小中学校の再編について問う

# 議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名		議員名															
		小林利明	谷口眞治	田野哲夫	岡田公男	植田隆博	上田勝幸	西坂秀美	森 利秋	浜上勇人	吉田増夫	西村伸一	山本賢司	岸本正人	西川誠一	寺川秀志	吉田範明
12月 定例会	議案第109号	香美町組織条例の全部を改正する条例を定めることについて	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	—
	議案第110号	香美町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	—
	議案第111号	香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	—
	議案第113号	香美町総合計画審議会設置条例の一部を改正する条例を定めることについて	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第116号	香美町下水道条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第118号	平成23年度香美町一般会計補正予算（第9号）に対する修正動議	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×
	平成23年度香美町一般会計補正予算（第9号）	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

# いろはにほへい

(小代区)

今回は、小代区大谷で、傘踊りや銭だいこ等々、多彩な地域活動をされている栃の実グループの世話人遠池久代さんと長野澄子さんにスポットを当てました。



遠池久代さんと長野澄子さん

**会の正式な名前を教えてください**

「大谷栃の実グループ」と言います。

**お二人は、どのような役割を担っていらっしゃいますか**

会員の活動がしやすいように練習の日程調整や出演の人数調整を行うことです。

**踊りなどの振り付けはどの様にされるのですか**

大谷に住む坂本深雪さんを師匠として迎え、踊りの創作や振り付けなどの指導をしていただいています。

**日常の活動は**

会結成当初は、自営業をしながら夜の活動でしたが、現在は、出演の依頼があったとき集中して練習をしています。

**会員の年齢構成、また会員数はどのようになっていますか**

49歳から79歳まで13人で活動しています。

**会を運営する中で、苦労悩みとがありますか**

練習は、会員の皆さん

**会の運営費は、どのようになっていますか**

今のところ会費は頂かずに運営しています。



踊り終ってパチリ



香住しおかせ香苑で(緊張!!)

## 大谷栃の実グループのあゆみ

小代区大谷地区の婦人会員有志が、民謡を通して踊りなどを楽しんできた。平成2年趣味の民謡を活かして地域の活性化と会員相互の親睦を目的に「大谷栃の実グループ」が結成される。練習場を大谷ふれあいセンターとし、笠踊りなど毎月1回練習に励んでいる。現在までに、尼崎市民祭に参加をはじめとし、旧村岡町で開催された全国植樹祭で天皇陛下の前で踊りを披露したり、鳥取県コリドー21、淡路花博、香美町文化協会祭等々で研鑽を高めている。

数の調整に苦勞しています。

**日々の活動を通じて感じることは**

会員の親睦を図りながら、地域の皆様とのコミュニケーションの場になつていきますので、喜びを感じています。

**議会に意見がありましたら**

議会の活動がよく分かります。各区で議会を順番で開くなど考えていただけないでしょうか。

## 編集後記

昨年起きた大震災は未曾有の大災害でした。自然の猛威に人間はなすずべもありません。その様な中でも釜石市の防災に対する意識の高さには学ばべき点がたくさんあります。「釜石の奇跡」と言われる小中学生の避難誘導活動です。釜石市では在校中の市内の小中学校の生徒約3千人の中に犠牲者は一人もいませんでした。昨年の11月、県内の町議会議員研究大会が香住区中央公民館で開かれ、講師は群馬大学の片田敏孝教授でした。片田先生は釜石市長の要請により数年前から釜石市の小中学生に防災指導をされてきました。事前の取り組みが有事の際の大きな力となることを議員として考えずにはいられません。(H)

### 編集発行責任者

議長 吉田 範明

### 議会広報特別委員会

委員長 田野 哲夫  
副委員長 植田 隆博  
委員 西坂 秀美  
委員 浜上 勇人  
委員 山本 賢司  
委員 西川 誠一  
委員 寺川 秀志